

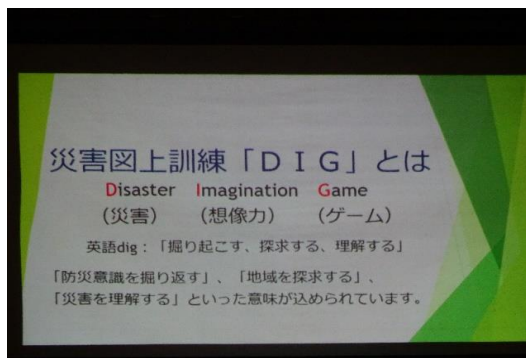


「地域の危険個所はどこだ？」

協力

概要： 初声中学校の1年生が、大型地図を使って、地域の危険個所を探った。

中学校1年
総合



実施内容

1. **実施校** 三浦市立初声中学校
2. **目的** 災害図上訓練（DIG）を行い、地域の危険個所を知り、地震や津波等の災害時に被害を最小限に防ぐことができるようにする。
3. **内容** プロジェクターで、講師よりDIGについて説明を受け、その後班ごとに分かれ、地図に農業用シートをかぶせ、その上からカラーペンで危険個所等に印をつけた。
4. **日時** 平成28年 10月25日(火) 13:30～15:00
5. **場所** 初声中学校体育館
6. **参加者** 初声中学校1年生 87名 1学年教員
7. **指導者** 三浦ふれあいの村職員 防災士 植松基氏

○最初に、講師より、プロジェクターを使って、災害の実際の様子の写真等を見て、防災についての意識を高めた。

○その後、18グループに分かれて、DIGの作業に移った。主要道路、狭い道路、水路、学校、警察署、消防署等を地図上に落としていき、災害時に役立つ施設、危険個所もマークしていった。その際、一度に複数の生徒が同時に活動できるように工夫されていた。

○今後、各グループの発表を行い、それを聞き合うことにより、防災についての意識を高めていく予定とのことだった。